

# 山田みやこの活動報告

平成30年12月11日(火)

## 栃木県地方議会女性議員連盟主催

### #MeTooから#WeTooへ ナディア・ムラドさんノーベル平和賞受賞記念フォーラム in とちぎ

2014年8月少数民族ヤジディ教徒の住む農村がイスラム国過激派組織(IS)に襲われ、男性300人が虐殺され女性たちはレイプを受けた。

性暴力の体験を自ら語り、人身売買の実行犯の責任を問い果敢に戦ったイラクのナディア・ムラドさん(25)が今年ノーベル平和賞を受賞した。欧米の女性たちも性被害に声をあげ始めた。

そこでノーベル平和賞受賞式に合わせて12月11日にフォーラムを開催した。

第1部は根本智子弁護士より「女性・子どもの性被害」の講演。性暴力は実母・実父・実祖父からの被害が多い。平成28年度内閣府の配偶者暴力調査では暴行の被害者の90%は女性、殺人の被害者の44.9%は男性。

なぜかというとな女性が被害を受け続け、その結果加害者である男性を殺すというところまで追いつめられているということ。セクハラや痴漢の被害では、男尊女卑がまだまだ根底にある。女性の人格を認めない・品定め・物色する目など人間としての目つきではない痴漢の実態や、どんなに仕事ができても、「君が男だったら」の言葉がまだまだ横行している。決して褒められているのではなく、女性であることを卑下されていることになる。対等な関係ではないのが現状である。

第2部は「語ろう#MeToo」車座トーク

2011年セクハラ労災行政訴訟を起こし、2015年勝訴

した全国シェルターネットの佐藤かおり氏の体験発表と参加した方々からの意見を出し合った。

大学生の一人は友人に兄からの性暴力被害を相談されたが自分には話を聴くことしかできず苦しかったと話された。話を聴くことも大きな支援だと会場からの意見。また相談窓口「とちコール」の紹介もあった。

少しずつ性暴力被害について「見える化」が進むために今後も若年層も交えて忌憚のない話ができる機会を作っていくべきだと実感した。

# Me Too から # We Tooへ

ナディア・ムラドさん  
ノーベル平和賞受賞記念フォーラム in とちぎ

第1部 「女性・子どもの性被害」  
講師：根本智子弁護士（大銀杏法律事務所）

第2部 「語ろう #Me Too」車座トーク

誰もがセクハラ被害にあっているかもしれない  
でも、誰にも言えない  
セクハラ加害者は誰にも知られず、セクハラを続ける  
もう、我慢するのはやめよう  
アメリカの女性たちが勇気を出して声をあげた  
日本でもセクハラに苦しんでいる人がいる  
「# Me Too」の声を聴きに出かけよう

きっと日本が変わる一歩になる  
若い力が世界を変える

12月11日(火)  
18:00~20:00  
会場：コンセーレ中会議室  
宇都宮市駒生 1-1-6 028-624-1417  
資料代：300円

お気軽にご参加ください

お問合せ↓  
【栃木県地方議会女性議員連盟】  
TEL/FAX：028-624-7385 (山田)  
Mail:office.info@yamadamiyako.jp

主催：栃木県地方議会女性議員連盟  
後援：栃木県女性団体連絡協議会、済生会（とちエール）、# Me too あなたはひとりじゃない実行委員会、  
栃木県若年者支援機構、星の家、とちぎVネット、つばさの会宇都宮支部、新しいネットワークをつくる会、  
女性と子どもをまわる会、ウイメンズハウスとちぎ

